

シニアのためのパソコン＆スマホ広場(その152)

Windows11が不調なときに行う「修復・再インストール機能」

“Windows Update”を実行したとき、何度もエラーになって更新が完了しなかった場合、「システムの復元」や「パソコン＆スマホ広場(その150)」で紹介の”DISM”と”sfc”のコマンドを数回実行しても解決できず、システムの「イメージバックアップ」も取っていないと、Windows11を”クリーンインストール”(初期インストール)することで大半は解決しますが、C:ドライブに保存しているデータをバックアップしたり、アプリの再インストールや”ライセンス認証”などを行う作業が伴うため、多大な稼働と時間を要します。

そこで、Windows11に壊れた「コンポーネント(設定)」や「システムファイル」を“Windows Update”で修復する「回復オプション」機能が搭載されています。

この機能は、アプリや、ドキュメント、各種設定情報を消さずに、C:ドライブに現バージョンのWindows11をダウンロードして再インストールする機能です。



【注】この機能を実行する場合、パソコン環境によって異なりますが、開始から完了まで3～4時間以上かかることがあるので、実行する際は時間に余裕をもって行ってください。

1. 事前準備

(1) 「スリープ」機能の解除とバックアップ

- ① 処理中にマウスやキーボードを操作しない時間が続くことがあるので、パソコンの“スリープ機能”を「なし」に設定する。
- ② ノートパソコンの場合、途中でバッテリー電源切れにならないよう、ACアダプタを接続する。
- ③ 万が一に備えて、重要なデータはパソコン外の記憶メディアにバックアップしておく。



(2) 現バージョンの確認

タスクバーの検索欄に半角で“winver”と入力すると、右図のように、現バージョンが表示されるので確認する。

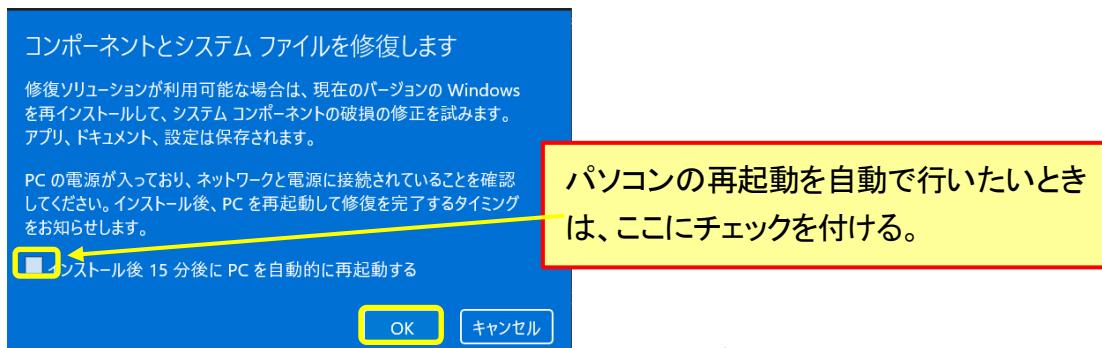


2. 「回復オプション」機能の操作手順

- ① 「スタート」⇒「設定の順にクリックする。
- ② 左側メニューの「システム」をクリックする。
- ③ 画面右側に「システム」が表示されるので、画面を下方にスクロールして「回復」をクリックする。
- ④ 「回復」が表示されるので、「WindowsUpdateで問題を解決する」の右端にある「今すぐ再インストール」をクリックする。



- ⑤ 次の画面が表示されるので、内容を確認して「OK」ボタンをクリックする。



⑥ “Windows Update”の画面に切り替わり、更新プログラムの確認が始まるのでそのまま待つ。



⑦ 更新プログラムが見つかると、Windowsのダウンロードが始まるので、終わるまで待つ。



⑧ ダウンロードが終わると、続いてインストールが始まるのでそのまま待つ。

⑨ 以降、画面に表示されるメッセージに沿って操作を進める、

⑩ Windows11の再インストール完了後、1-(2)項の手順でバージョンを確認する。

⑪ 「スタート」⇒「設定」⇒「Windows Update」の順にクリックして、Windowsが最新の状態になっていることを確認する。



ここを再クリックして、再度「最新の状態です」と表示されることを確認する。



以上
田辺・西牟婁地区協議会 森田那華雄